

大分春日内科循環器 エコークリニック

今年はや暖冬だったためかインフルエンザの患者さんは例年より少なかったと思います。ことさら新型コロナウイルスの脅威によりインフルエンザも影が薄かった感じがします。例年以上にマスクの重要性を感じました。隣の調剤薬局でもマスクの売り切れが続く異常事態でした。新型コロナウイルスについて必要以上に怯える必要はないと思っていますが、手洗い・うがい等の予防対策は徹底していきましょう。



理事長 伊藤健一郎 ごあいさつ

平成元年、大分医科大学卒業。アルメイダ病院、小倉記念病院、南海病院に勤務。主に狭心症・心筋梗塞のカテーテル治療に携わる。

早いもので開院して2年が経ちました。スタッフ一丸となってこれまで以上におもてなしの心で診断・治療にあたってまいります。これからもどうぞよろしくお願い致します。最近外来診療しながら感じるがあります。以前は坂道を歩くと胸が締め付けられると訴える狭心症の患者さんが多かったのですが最近は少なくなりました。

その理由として

1. 狭心症の原因となる動脈硬化をもたらす生活習慣病(高血圧、コレステロール、糖尿病、喫煙等)が以前より徹底して管理されるようになった。
2. 狭心症に対するカテーテル治療が充実してきて狭心症の患者さんの治療をやりつくした感がある。
3. 狭心症の治療に薬剤溶出性ステントが使われるようになり治療した部位に「再狭窄」が起らなくなった。

などが考えられます。

それに代わって動悸を訴える不整脈の患者さんを診察することが多くなりました。(動悸の患者さんは以前から多かったのですが、狭心症の患者さんと比べると多くなりました。)

不整脈に対するカテーテルアブレーション治療はこの10年で大きく進化し、これまで治療できなかった「心房細動」まで治療できるようになりました。多くの不整脈がカテーテルアブレーションの対象になってきたことでより不整脈の患者さんと関わるが多くなったと感じます。

TEL 097-578-7200

診察時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 (9:00~12:30)	○	○	○	○	○	○	×
午後 (15:30~19:00)	○	○	○	○	○	×	×

※土曜の午後、日・祝は休診です。

<https://kasuga-clinic.jp/>

〒870-0816 大分市田室町6-11

